

令和3年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

令和3年5月27日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	64.7%	○				
算数	70.2%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	68.3%	○				
話すこと・聞くこと	77.8%	○				
書くこと	60.7%				○	
読むこと	47.2%	○				

【考 察】

- 説明文を読む問題で、出された条件と結びつけて必要な情報を見付けたり、中心となる言葉や文を見付けて要約したりすることに課題があります。授業の中で、条件を見付けて解決する問題や、キーワードを入れてまとめる活動などに計画的に取り組ませたり、活動のねらいを意識して取り組ませたりすることで、言葉の特徴や使い方に関する事項、話すこと・聞くこと、読むことの基本的な内容が定着するように指導してまいります。
- 漢字の問題では、漢字の部首や漢字を意識して使い分けることに課題があります。ノートや作文指導の際、意識して指導を行ってまいります。また、本校では「漢字コンクール」を年3回実施し、子ども達も意欲的に取り組んでおります。「漢字コンクール」での問題に今回の結果を反映させ、事前・事後指導での意識化を図ることで、課題解決への手立てとしてまいります。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.1%	○				
図形	57.9%	○				
測定	74.8%	○				
変化と関係	75.9%	○				
データの活用	76.0%	○				

【考 察】

- 図形の面積を求める問題で正答率が低く、複数の図形を組み合わせた平行四辺形や直角三角形で高さを見付けて面積を求める内容に課題があります。授業の中で、どんな図形なのかを説明し合ったり、図形の特徴や構成する要素に着目して考えたりすることができるように、授業改善を図ってまいります。
- 数と計算では、問題場面を的確に捉えて計算したり、小数を用いた倍についての説明を理解し、基準量を1としたときの考え方を説明したり、日常生活の場面に即して判断したりする問題で課題があります。問題場面の式の意味を話し合ったり、解き方を文章で説明したりする活動に繰り返し取り組ませてまいります。

令和3年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	3 1. 2	4 2. 8	1 9. 8	6. 1
6	白三小	3 3. 3	4 4. 4	1 4. 8	7. 4

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均と比較すると、「している」「どちらかといえ
ばしている」とも全国平均を上回っており、計画的に進んで取り組んでいることがわかります。
- 自分で考え、計画し、実践していくことが自立につながるものと考え、継続して指導していきます。4月に配付した「家庭学習の手引き」を基に、ご家庭とも連携しながら取り組んでいきます。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	1 1. 6	1 5. 3	3 5. 6	2 4. 5	9. 5	3. 5
6	白三小	4. 9	6. 2	4 5. 7	3 0. 9	1 1. 1	1. 2

(単位 %)

【考 察】

- 半数以上の子どもが、学年の目標である「学年×10～15分」以上、学習に取り組んでいることがわかります。一方で、学年の目標時間に達していない子どもが約42%いることから、実態に応じて内容を調整したり、自主学習の例を紹介して、家庭学習のやり方を広く共有できるように働きかけたりすることで、自己マネジメント力を高め、主体的に学習に取り組めるよう努めます。
- 今後も、本校の「家庭学習の手引き」を基に、「目をかけて」「声をかけて」「心をかけて」を合い言葉に、保護者の皆様と共に子ども達を育てていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小 6	全 国	7. 4	10. 8	19. 2	23. 8	14. 7	24. 0
	白三小	13. 6	8. 6	13. 6	19. 8	14. 8	29. 6

(単位 %)

【考 察】

- 2時間以上読書している子どもは約13%おりますが、30分未満の子どもが約60%おります。本校では、年間で、低学年75冊・中学年50冊・高学年30冊を目指して読書活動に取り組んでいます。今後とも、読書に親しむことのよさを感じることができるように努めます。
- 学校司書と連携し、各教科の学習と関連のある本を紹介したり、読書を通じて友達と交流できる機会を設けたりしております。今後も、子どもたちが読書に親しむことができる環境を整えていきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	47. 9	35. 5	11. 4	5. 2
	白三小	59. 3	25. 9	11. 1	3. 7

(単位 %)

【考 察】

- 約59%以上の子どもが「学校に行くのは楽しい」と回答しており、全国平均を上回っています。「どちらかといえば、当てはまる」と回答した子どもを入れると、85%以上の子どもになります。今後も、子どものよさを認め、さらに伸ばしていく心構えを継続し、様々な学習活動への意欲につなげていきます。
- 本校では、「Q-Uテスト」を活用したよりよい学級づくりや、「ハッピータイム」での子ども達のよりよい関係づくりに取り組んでいます。「あのね作文」で子ども達の困り感にすぐに寄り添い、解決できるような体制も整えています。今後も学級の状況や子どもとの関わり方について研修を深めると共に、子どもたち一人一人を大切にし、子どもの考えを見取ったり、状況に応じて関わったりする教師の技能向上に努めていきます。